

TOPIC 10 アイヌ文化の
伝承と発展に努める

第28回フンペ祭イチャルパ

アイヌ伝統儀式「第28回フンペ（クジラ）祭イチャルパ」が、アイヌ文化拠点施設ウレシパチセとフンペリムセ発祥地碑広場（馬主来）で開かれました。

今年は4年ぶりに本来の祭として開催。この日は、ウレシパチセでカムイノミ（神々への祈り）を行った後、会場をフンペリムセ発祥地碑広場に移し、ヌサオンカミ（ご弊礼拝）とイチャルパ（先祖供養）の儀式を行いました。最後は白糠アイヌ文化保存会と阿寒アイヌ民族文化保存会の会員が古式舞踊を奉納しました。



フンペリムセ（クジラの踊り）を行う白糠と阿寒の両会員



好天の中、優勝を目指してプレーをする参加者

TOPIC 7 優勝目指してプレー

交通安全パークゴルフ大会

パークゴルフを通じて交通安全意識の向上と事故防止を目的とした「交通安全パークゴルフ大会」が道通公園パークゴルフ場で開かれ、60歳以上の町民61人が参加し、優勝目指して競い合いました。

男性は60～74歳の部で佐藤公哉さん、75歳以上の部は伊賀實さん、女性は60～74歳の部で米川厚子さん、75歳以上の部は木屋和子さんが優勝を飾りました。

優勝をした佐藤公哉さんは「ホールインワンも取れたし、優勝できてうれしいです」と話していました。



井上校長（左）の説明を聞きながら施設内を見学

TOPIC 11 地域を知り
ふるさと教育につなげる

掘削技術専門学校見学会

町内の教諭で組織される「ふるさと学習部会（大西展史会長・庶路学園校長）が、掘削技術専門学校（井上政史校長）の見学会を行いました。

見学会では、井上校長の説明を聞きながら、ロータリー掘削機や実習棟にある掘削現場で利用する機械などを見学しました。

大西会長は「環境教育に取り組む際の一つの視点として活用することで、子どもたちの学びを深める素晴らしい教材になると思います」と話していました。

TOPIC 8 相続が争族にならないように

相続と争族のはなし

町教育委員会主催の公民館講座「相続と争族のはなし」が公民館で開かれ、町民4人が参加しました。

講座では、明治安田生命保険相互株式会社の社員が、相続税の計算や遺言書の書き方など、相続に関することを分かりやすく説明しました。また、会場では血管年齢測定や野菜摂取量測定も行われました。

参加した吉川陽子さんは「大変勉強になりました。今日聞いたことを相続に興味のある友人にも教えてあげたいです」と話していました。



「争族にならないよう、生命保険の有効活用を」と話す講師

TOPIC 12 環境保全に対する取り組み

ロータリー地球環境保全プロジェクト

白糠ロータリークラブ（片山清孝会長）は「ロータリー地球環境保全プロジェクト」として、恋問海岸のボランティア清掃を行いました。

同プロジェクトは、それぞれの国や地域で一斉に海岸などの清掃を行うものです。この日は、白糠ロータリークラブの会員7人がゴミ袋とトングを持ち、ペットボトルや空き缶など約60kgのゴミを拾い集めました。

片山会長は「このような活動が積み重なり、環境問題の改善に繋がればうれしいです」と話していました。



1時間かけて恋問海岸のゴミを拾い集めました



自分で作ったラジオを試聴しました

TOPIC 9 電波の仕組みや性質を学ぶ

電波適正利用推進員「電波教室」

北海道電波適正利用推進員協議会主催の「電波教室」がNP0法人陽向ぼっこで開催され、参加者はラジオ作りを通して電波の仕組みや性質などを学びました。

この日は、同協議会釧路地区の笠原邦夫代表が講師を務め3人が参加。はんだごてを使ったラジオ作りに挑戦し、最後は実際に作ったラジオを試聴しました。

對木陽花里さん（茶路小5年）は「ラジオを作ったのがとても楽しく、電波のおもしろい話も聞けたので、参加して良かったです」と笑顔で話していました。